

あきたの うらりいかちと

VOL. 485
2015.4.25

春、到来

北国秋田では、梅の花が桜より一足先に春の訪れを告げてくれます。大潟村では道路沿いに植えられた梅と水仙の共演を楽しむこともできます。梅の花が終わる頃には、桜と菜の花が私たちの目を楽しませてくれることでしょう。

写真提供：鈴木 公英
(新城川土地改良区)



イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1 水土里ネット秋田の役員紹介

CONTENT 2 全国水土里ネット第57回通常総会・表彰式

水土里ネット秋田 役員紹介

平成27年4月1日現在



◆会長

高 貝 久 遠

◎秋田県田沢疏水土地改良区
理事長



◆副会長

正 木 正 一

◎由利本荘市土地改良区
理事長



◆副会長

畠 山 清 俊

◎比内町土地改良区
理事長



◆専務理事

清 野 弘 久

◎員外(学識経験者)



◆常務理事

水 戸 憲 光

◎員外(学識経験者)



◆理 事

長谷部 誠

◎由利本荘市長



◆理 事

田 中 長

◎琴丘土地改良区
理事長



◆理 事

小 畑 元

◎大館市長



◆理 事

田 口 信 一

◎かづの土地改良区
理事長



◆理 事

大 坂 芳 市

◎雄勝郡山田五ヶ村堰
土地改良区理事長



◆理 事

柴 田 康 二 郎

◎秋田県雄物川筋土地
改良区理事長



◆理 事

松 田 知 己

◎美郷町長



◆理 事

鈴 木 清

◎男鹿東部土地改良区
理事長



◆総括監事

藤 井 弘 道

◎秋田県南旭川水系
土地改良区理事長



◆監 事

小 川 善 信

◎能代南土地改良区
理事長



◆監 事

真 壁 末 治 郎

◎潟上市天王土地改良
区理事長

目 次 CONTENTS

水土里ネット秋田の役員紹介	2	ちょっと耳より知恵袋「相続と組合員資格との関係についての基礎知識①」	12
全国水土里ネット第57回通常総会・表彰式	3	施設保全の現場から「土地改良施設維持管理適正化事業について」	13
新任挨拶(県農林水産部次長、参事(兼)農地整備課長)	4	ようこそ土地改良区へ(大館市二井田真中土地改良区：菅原喜博)	14
平成27年度県関係機関の紹介	5	随想(羽後町土地改良区：柿崎千春)	15
秋田県の土地改良関係課職員配置	6	連合会日誌、会員だより	15
県からの情報提供	7	水土里レポーターによる写真投稿(鳥海町笹子土地改良区：鈴木義則)	16
由利本荘市土地改良区が誕生	9	リレー感想文(峰浜土地改良区：菊地玲子)	16
本会新任職員の紹介	9	農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ②)	16
平成27年度事務局機構(水土里ネット秋田)	10	編集後記	16

本会高貝会長、全土連副会長に就任

3月25日、「全国水土里ネット第57回通常総会」が東京都(都市センターホテル)で開催され、全国から関係者らが参加した。平成25年度の事業追加報告、収入支出決算、26年度中間報告、補正予算等が議決され、続いて平成27年度事業計画についても、①力強い農業を支える農地の整備と有効利用②老朽化に対応した農業水利施設の長寿命化、計画的な更新整備の推進と農村地域の強靱化に向けた防災・減災対策の推進③土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化及び将来に向けた検討④時代に応じた水土里ネットの使命と役割の在り方の検討⑤国民合意の形成に向けたわかりやすい広報活動推進を重点項目とし、事業を実施していくことが承認された。また、最後に役員改選が行われ、本会の高貝会長を含む理事15名と監事3名が選任された。新会長には二階俊博氏(和歌山県土連会長)が就任し、本会高貝会長は副会長に就任した。二階会長は、「歴史と伝統ある会の会長に就任し、身の引き締まる思い。日本の農業や農村を取り巻く環境は、大きな転換点を迎えているが、全国の会員の方々とともに、さまざまな課題に対し関係者の期待に十分応えられるよう全力を尽くしていく」と決意を語った。

続いて、全国水土里ネット表彰式(第56回全国土地改良功績者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール、21世紀土地改良区創造運動表彰式)がシェーンバッハ・サポーにおいて開催され、林芳正農林水産大臣、三浦進農村振興局長はじめ約600名が出席。主催者を代表して野中広務全国水土里ネット会長が「全国水土里ネットとして東日本大震災にて被災された方々のため、今後とも皆様と一緒に復旧復興に力を尽くしていく。本日受賞される方々は、困難な運営に長年携わり優秀な成績を挙げられた経験と実績をもとに、今後も引き続きそれぞれの立場でご指導を賜り、土地改良事業推進と地域振興にご尽力頂きたい」と式辞を述べられた。本県では団体として7土地改良区、2個人が表彰を受けた。(表彰者に関しては484号を参照)



表彰式で挨拶を行う野中会長



秋田県表彰関係者と野中会長

全国土地改良事業団体連合会第15期役員

平成27年3月25日選任(任期:平成27年4月1日～平成31年3月31日)

名誉会長理事	の	なか	ひろ	む	京都府土地改良事業団体連合会会長
	野	中	広	務	
会長理事	に	かい	とし	ひろ	和歌山県土地改良事業団体連合会会長
	二	階	俊	博	
副会長理事	たか	がい	ひさ	とお	秋田県土地改良事業団体連合会会長
	高	貝	久	遠	
〃	なか	はら	まさ	ずみ	長野県土地改良事業団体連合会会長
	中	原	正	純	

他理事11名、監事3名

新任のごあいさつ



秋田県農林水産部次長
倉部明彦

このたびの異動で雄勝地域振興局長として転出された藤原元吉氏の後任として次長を命じられた倉部です。平成27年度のスタートに当たり一言ご挨拶申し上げます。

さて、農業農村整備に関わる各種の制度は、我が国の置かれた経済・社会情勢の変化を受けて、この2年余りの間に大きく転換してきました。その流れを簡単に振り返ると、まず平成25年6月に「日本再興戦略」が閣議決定され、担い手への農地集積（8割）や6次産業化等推進（10兆円）、そして農産品の輸出促進（1兆円）が打ち出され、12月にはこれを実現するための農政改革方針「農林水産業・地域の活力創造プラン」が決定されます。このプランと併せていわゆる「4つの改革」が掲げられて、農地中間管理機構や日本型直接支払制度が創設されたところです。政府は、農業を成長戦略に欠かせない産業と位置づけてさらに改革を進めており、今年に入り、2月には農協や農業委員会等の法改正の骨格を決定したほか、3月には新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定しました。この計画では、食料自給率の目標を見直すとともに、新たに「食料自給力」という指標で我が国の農業の潜在的能力を規定していますが、農業農村整備に関しても、構造改善や国土強靱化の観点から基盤整備の推進を謳い、多面的機能支払制度の充実や多様な地域資源の活用等により農村の振興を図っています。

翻って、本県の農山村は、他にもまして厳しい状況であり、国のこれら動きの如何に拘わらず、農地や水利施設を維持して農業を継続・発展させ、集落コミュニティを継承していくために、様々な対策が待ったなしであります。県では、土地改良団体の皆様と緊密な連携のもと、本県の農業農村に真に必要なとされる施策や事業を仕組み、必要な予算の確保に努めていく方針です。

私も微力ながら全力で取り組んで参りますので、引き続き県政へのご支援をよろしくお願いいたします。

新任のごあいさつ



秋田県農林水産部参事
(兼)農地整備課長
瀧川拓哉

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から、本県の農業農村整備施策の推進に御理解と御協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

土地改良団体の皆様と私ども行政土地改良部局は、農業生産の最も重要な基盤である「農地」と「水」の整備・保全を主たる役割としており、これらは、県農政のテーマである「複合型生産構造への転換」や国の掲げる「地方創生」に必要な不可欠な役割であります。

しかしながら、本年度の国の農業農村整備予算は大変厳しいものとなっております。本県においても、計画どおりの事業進捗が困難な状況にあります。

私どもとしましては、国に対する予算確保の働きかけを含め、現場のニーズに可能な限り応えていくよう努めてまいりますので、皆様におかれましても、引き続き御支援くださいますようお願いいたします。本年度もどうぞ宜しく願いいたします。